

御前崎港に新規定期コンテナ航路が開設

平成27年4月から、御前崎港に日本とタイ・ベトナムを結ぶ新たな定期コンテナ航路が開設され、第一船が平成27年4月10日夜に入港しました。これにより、県内企業などが御前崎港から東南アジア各国と直接輸出入することができるようになり、御前崎港の利便性が向上しました。

従来の航路である中国(寧波)航路、韓国(釜山)航路と合わせて全3航路・週3便となり、寄港地経由で世界各地との輸出入が可能です。また、静岡県内では唯一、RORO船*による国内(荻田・大分)定期航路が週4便就航し、九州各地への大量輸送に対応しています。

*RORO船は、貨物を積載したトレーラー等が自走で出入りできる船で、貨物は、車両に積載された形で海上輸送されます。

御前崎港の定期航路	航路・便数	寄港地	船社名
タイ・ベトナム	1航路 週1便(木)	御前崎→東京→横浜→ラムチャパン(タイ)→バンコク(タイ)→ラムチャパン→ホーチミン(ベトナム)→大阪→神戸→御前崎	NYK Container Line(株)
中国	1航路 週1便(水)	御前崎→横浜→博多→光陽(韓国)→寧波(中国)→神戸→名古屋→四日市→御前崎	MSC Japan(株)
韓国	1航路 週1便(金)	御前崎→釜山(韓国)→神戸→名古屋→横浜→清水→御前崎	Cheng Lie Navigation Co.
国内RORO船	1航路 週4便 (火・木・金・日)	御前崎→荻田→大分→東京→御前崎	商船三井フェリー(株)



RORO船の荷役では、貨物を積載したトレーラーが自走して乗船し、船内でトレーラーヘッドが切り離されます。

第39回さがら草競馬大会を開催

夏は海水浴場として賑わう「さがらサンビーチ」で、平成27年4月26日に県内外から約40頭の馬が参加し「第39回さがら草競馬大会」が開催されました。砂丘を周回する草競馬は全国でもこの「さがら草競馬大会」だけであり、市内外から多くのカメラマンが撮影に訪れます。

レースは、サラブレッド・中間種・ポニーの3種類に分けて行われ、初夏を感じさせる浜辺を疾走する馬を間近で観戦できるのが、さがら草競馬大会の醍醐味です!

会場内には、地元特産を扱う「田沼の市」や多くの露店が並び、市内上空を一周するヘリコプターの遊覧飛行、相良海岸沖を一周する遊覧船、また、ポニー乗馬体験や宝さがしなどご家族連れにも一日お楽しみいただけるイベントが繰り広げられ、約3万人のお客様に満喫していただきました。



さがら草競馬の様子

沼津港防災訓練

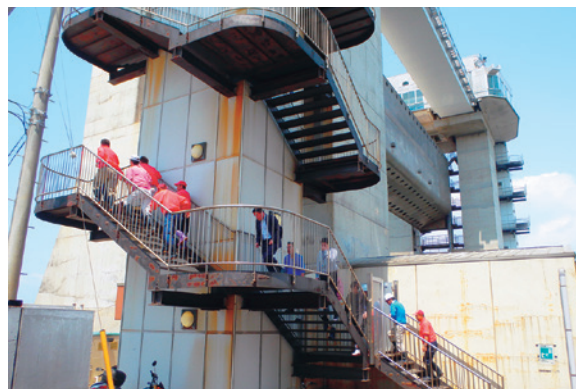
県は、南海トラフ巨大地震の発生を想定し、広域かつ甚大な被害が予想される大規模災害に備えるため、「防災拠点港湾」に位置付けられている沼津港で、国と自治体及び沼津港関係者との連携体制の確立や災害対策要員のスキルアップ等を目的として防災訓練を実施しました。

静岡県消防防災航空隊のヘリによる救助訓練・緊急物資輸送訓練・要救助者輸送訓練、我入道漁協による緊急輸送訓練、中部地方整備局「清龍丸」による油回収訓練、水門（びゅうお）の閉鎖訓練を行うとともに、約150人の沼津港関係者が津波避難訓練に参加しました。

初めての試みである今回の訓練を通して、防災に対する意識と災害発生時の行動などの共有化が図られました。



清流丸と我入道漁協による緊急物資輸送訓練



「びゅうお」での津波避難訓練

「ダイヤモンド・プリンセス」清水港に初入港!!

平成27年5月16日(土)、清水港日の出埠頭に、過去最大となる「ダイヤモンド・プリンセス」(全長290m、115,875トン)が、約3,800名の乗客・乗員とともに初入港しました。小雨の降る早朝にもかかわらず、岸壁には多くの客船ファンが集まり、三保半島沖から近づいてくる「ダイヤモンド・プリンセス」の大きさと優雅さに感嘆の声をあげていました。

今回は、清水港客船誘致委員会設立25周年記念事業として、海上からの「お出迎え&お見送りクルーズ」を初めて実施し、多くの県民が船上からも豪華客船の勇姿を楽しみました。

寄港中は歓迎セレモニーのほか、着物の着付け体験、お茶会、芸妓による舞の披露、和太鼓の体験などのさまざまなイベントが行われ、乗客と約6万人の客船ファンで終日にぎわいました。また、乗客の多くは、バスツアーで三保松原、日本平、久能山東照宮などを訪れ静岡の名所を堪能しました。

出港時には、和太鼓と地元中・高校生による吹奏楽の演奏の中、多くの県民が名残惜しそうに、船が小さくなるまで岸壁で見送っていました。

清水港には、今年度、初入港する6隻を含め、10隻以上の豪華客船の入港が予定されています。



出港見送りの様子



船員との記念撮影

公益社団法人日本港湾協会第88回定時総会が静岡市で開催

平成27年5月27日(水)、静岡市清水文化会館マリナートにおいて、全国の港湾管理者、港湾所在市町村、港湾関連企業・団体など約900名が出席し、盛大に開催されました。本総会は、全国10地区を持ち回りで年1回開催されており、東海地区では平成17年に名古屋市で開催されて以来10年振り、静岡県内では平成3年旧清水市で開催されて以来、24年振りとなります。

静岡県港湾振興会からは田辺信宏会長(静岡市長)、小長井義正副会長(富士市長)、石原茂雄副会長(御前崎市市長)、西原茂樹副会長(牧之原市長)、中野弘道焼津市長をはじめ、34名が出席しました。

開会式では、宗岡正二日本港湾協会会長、川勝平太静岡県知事、田辺信宏静岡市長がごあいさつされ、望月義夫環境大臣(自民党港湾議員連盟会長)、西村明宏国土交通副大臣が祝辞を述べられました。



歓迎の挨拶をする川勝静岡県知事(左)と田辺静岡市長(右)

港湾功労者等表彰式では、本県から清水港客船誘致委員会、清水港・みなと色彩計画推進協議会が、「富国有徳の清水港風景づくり」を評価され日本港湾協会企画賞を、望月薫様(清水港客船誘致委員会、清水港・みなと色彩計画推進協議会会長)、西尾忠久様(鈴与(株)専務取締役)、柴田三夫様(元静岡県清水港管理局技監)が港湾功労者表彰を受け、受賞者136名を代表して望月薫様が謝辞を述べられました。

総会終了後の港湾関係者交流会には、約800人が参加し、活発に意見交換が行われ、生シラス丼やサクラエビのかき揚げなど地元の食材を楽しみながら、交流を深めました。



表彰式(港湾功労者表彰を受ける望月会長)



交流会の風景

みなと“白慢”

南伊豆町建設課

～海辺の催し～

南伊豆町は、伊豆半島の最南端に位置し、天城山脈より連なる山地を背にして、東側は下田市、西側を松崎町に接しています。東側の弓ヶ浜、最南端石廊崎、西側の波勝崎を結ぶ延長57.4kmの海岸線を有し、海岸線は富士箱根伊豆国立公園や名勝伊豆西南海岸に指定されており、迫力あるリアス式海岸美を誇る一大景勝地です。

特に、二級河川青野川河口部にある手石港の弓ヶ浜海岸は、白砂青松の優美な海浜を持ち、海水浴場やアカウミガメの産卵地としても知られており、平成9年には、当町独自でウミガメ保護条例を制定し、豊かな自然環境の保全に努めています。

手石港・弓ヶ浜で行われる、海辺の催しを紹介します。

1.黒潮フィッシング大会

毎年5月に、南伊豆町遊漁船業組合主催の黒潮フィッシング大会が手石港を大会本部として開かれています。手石港から20分程沖合に出た神子元島周辺を海域として、餌釣りとルアー釣りの各部門に分かれ、餌釣りは真鯛のみ、ルアー釣りは青魚全般を対象に、1匹の重量を競い合いあう大会です。



優勝者が釣り上げた魚



スプラッシュウォーターパークで遊ぶ若者

2.弓ヶ浜スプラッシュウォーターパーク

7月には、弓ヶ浜の海上にドイツ製のスプラッシュウォーターパークが設置されます。国内では南伊豆町と逗子市の2箇所のみです。昨年、国内で初めて南伊豆町に上陸し、親子連れや若者に大人気で、多くの海水浴客が楽しみました。

今年は7/11(土)～8/31(月)オープンです!!

3.弓ヶ浜花火大会

毎年8月8日には、弓ヶ浜において弓ヶ浜花火大会が開催されます。

弓ヶ浜はその名のとおり、弓なりの海岸に白砂が形成された、日本の渚百選に選ばれている渚です。この美しい砂浜でゆったり眺める花火は格別です。

約900発の打ち上げ花火と、水中から飛び出るような水中花火が弓ヶ浜を照らします。



水中花火



白熱したゲームを楽しむ参加者

4.2015ビーチバレーボールフェスタ 弓ヶ浜大会

平成27年8月29日と30日の2日間にわたって、ビーチバレーボールフェスタが弓ヶ浜で開催されます。全国から多くのビーチバレー愛好者が集い、灼熱の太陽のもと熱戦が繰り広げられます。

1チーム4名の構成で、男子が72チーム、女子48チームが参加し試合数も多く思う存分ビーチバレーが楽しめる大会となっています。

5.南伊豆・弓ヶ浜オープンウォータースイミング(OWS)マスタース大会

平成27年9月6日(日)に、一般社団法人日本スポーツコミュニケーション協会主催の第2回南伊豆・弓ヶ浜オープンウォータースイミングマスタース大会が開催されます。弓形に砂浜を形成するその美しい砂浜と、遠浅の浜辺を利用した国際大会で、海外からの招待選手を含め、国内外のトップアスリートが集います。



参加者スタッフ全員集合



やった!完泳!

～港こぼれ話～

誰も書かなかった 田子の浦港埋没対策

元静岡県交通基盤部
田子の浦港管理事務所長
芦川 弘之



昭和30年代、東駿河湾工業整備特別地域の拠点港として着工し、地域の経済発展を支えてきた田子の浦港は、来年、開港50周年の節目を迎えます。しかし、その道程においては、厳しい海象条件や環境問題など幾多の試練が立ちはだかりました。

本欄にも多数の先輩が、その奮闘記を投稿しています。

私は昭和54年に、当時の土木部港湾課環境係に辞令を受け、翌日からヘドロ処理（公害防止対策事業第四次後期）の現場応援に出向きました。以降、三度の田子の浦港管理事務所勤務を含め、田子の浦港にぞっこん、ミスター田子の浦港と呼んで頂いた事もありました。

泊地埋没対策（アフターヘドロ）

昭和57年のクリーン宣言（ヘドラ退治）後は、既定水深確保が大命題となりました。当時の最先端の港湾

した。当港の泊地浚渫を、雪掻きに例えた方がおりました。まさに、泊地に潜水した時に見たSS沈降の物言いでしたか。しかし、雪は融けて水資源の恩恵をもたらします。一方、築港により、河口閉塞や高潮の改善による背後地開発の進展、更には港内の沈殿池効果など、ここならではの恩恵もたらされています。

泊地堆積メカニズムの解析によると、年間約10万m³を超える堆積土砂等が推定された時期もありました。それらの土砂は、混じり合い軟泥質を呈するため、その浚渫・処理には、技術的な見地、更には、昔の名前の面影により、処分地の確保には一段の配慮が必要でした。この為、発生源対策、処理・処分方法、処分地の確保等を効率的に取り組むため、「田子の浦港泊地恒久対策検討会」を設け、泊地恒久対策を検討することとしました。



着工当時(昭和33年)

技術を駆使した掘込式港湾でしたが、流入河川からの流下土砂や特定都市下水路（岳南排水路）からの流入物の港内堆積により、埋没対策が喫緊の課題となりま



田子の浦港(平成26年3月)

流域の山溪対策や河川改修、更には河口部の沈砂地も、発生源対策の効果は発揮しつつも、港にとっての抜本的な解消には至っておりません。また、その処分を内陸に依存せざるを得なかったため、浚渫土砂の

減量化もテーマでした。現在採用している高圧フィルタープレス工法(PFP)は、多数の脱水工法(ベルトプレス工法など)の試行錯誤の結果です。PFP工法は、浚渫土砂処理の過程で、脱水による減容化はさることながら、その前処理工程における砂・砂利の分級が特色で、分級された砂・砂利は海岸への養浜材として活用できました。次に、融けることのない土砂の有効利用です。塩分が比較的含まれている脱水ケーキの優良土壌化(農耕土等への活用)の検討です。さつまいもなどの栽培実験を経て、ある程度の方策を確立しましたが、事業化は、その採算性(処理経費)が課題でした。その検討においては、当時の県農業試験場と共同で研究を行い、その論文が博士号取得の一つの論文になったとお聞きしております。その取組も、その後のダイオキシン類問題で休止状態になっています。

命の堤防(田子の浦みなと公園、鈴川海岸緑地)

PFP処理土も含め、富士海岸のふじのくに田子の浦みなと公園への盛土材としての活用は、国の河川局直轄海岸の占用協議もさることながら、地元田子浦地区の皆様のご理解・ご協力によるものです。



赤人の歌碑(ふじのくに田子の浦みなと公園)

宿弥寄て、不二も何やら 薄化粧
弥生三月 田子の浦の恋

平成10年代に入り、新たな環境問題、ダイオキシン類の存在が問題となりました。

田子の浦港のダイオキシン類浄化対策を、専門家による委員会で検討していただき、ヘドロ処理に次ぐ公害防止対策事業の実施になりました。

浚渫・その処理については、PFP工法の実績を活か

した対策を構築しましたが、その処分地確保は、センセーショナルな新しい環境問題ということもあり、候補地の地元の皆様と幾多に亘る協議の末、ご理解を頂き鈴川海岸への盛土計画に目途がつけました。鈴川海岸、富士海岸への盛土は、東日本大震災の津波被害を受け、現在各地で実施されている命山を先取りした築堤工事になっています。



不二とふじ丸と富士山田子の浦港と(合成)

愛港無限、富士山田子の浦港

風除け古湊、新湊、時代は下って吉原湊、田子の浦港、みなと周辺には先人の足跡が点在する。その尽力にあらためて感嘆。また、富士山がとても良く似合う風光明媚なみなと周辺は、詩歌などに詠まれている。中でも、山部宿弥赤人の歌は有名である。ふじのくに田子の浦みなと公園は、往時の情景を醸し出している。魅せられて「田子の浦港みなとまるごと富士見館」マップを作って、自ら館長を名乗っている。

昨年、富士市議会政策討論会の議題に、田子の浦港の恒久対策を取り上げて頂いた。富士市においても、シティプロモーションの一環として港の利活用を進めている。近年は航路埋没も顕著になっている。埋没対応は田子の浦港の生命線、引き続き国、地元市や関係者のご協力を仰ぎ、効果的なBCPの展開が望まれる。港と地域共存共栄、湊と富士一期一会、愛港無限、富士山田子の浦港。開港50年、未来へ50年。

港湾関係行事予定 (平成27年8月1日～平成28年1月31日)

日 程	内 容
毎月第1日曜日	海湖館朝市(湖西市)
8月1日(土)～8月4日(火)	あたまビールまつり(熱海市 渚親水公園)
8月1日(土)	御前崎みなと夏祭2015(御前崎市 マリンパーク御前崎)
8月2日(日)	沼津千本浜トライアスロン大会・チームケンスカップトライアスロン駅伝大会(沼津市 千本浜)
8月3日(月)	伊豆山温泉納涼海上花火大会(熱海市 伊豆山港)
8月4日(火)	第68回 初島・熱海間団体競泳大会(熱海市 熱海湾)
8月5日(水)・7日(金)・17日(月)・23日(日)・28日(金)	夏季熱海海上花火大会(熱海市 熱海湾)
8月8日(土)	弓ヶ浜花火大会(南伊豆町 弓ヶ浜海岸)
8月10日(月)	按針祭の花火大会(伊東市 伊東海岸)
8月10日(月)	さがら海上花火大会(牧之原市 さがらサンビーチ)
8月12日(水)	多賀海上花火大会&ビールフェスティバル(熱海市 多賀湾/長浜海浜公園)
8月14日(金)	焼津海上花火大会(焼津市 焼津港外港)
8月14日(金)・8月15日(土)	安良里夏祭り(西伊豆町 安良里港) 14日 花火大会
8月14日(金)～8月18日(火)	帆船「海王丸」入港(御前崎市 中央埠頭)
8月15日(土)・8月16日(日)	田子港祭り(西伊豆町 田子港) 15日 花火大会
8月16日(日)	伊豆多賀温泉百八体流灯祭&ビールフェスティバル(熱海市 多賀湾)
8月16日(日)	網代温泉花火大会(熱海市 網代湾)
8月18日(火)～8月20日(木)	土肥サマーフェスティバル(伊豆市 土肥港湾内)
8月22日(土)	えんばい朝市(浜松市 舞阪漁港)
8月25日(火)・8月26日(水)	伊豆山温泉さざえ祭り&花火大会(熱海市 伊豆山浜特設会場/伊豆山港)
8月29日(土)・8月30日(日)	弓ヶ浜ビーチパレーフェスタ(南伊豆町 弓ヶ浜海岸)
8月29日(土)・8月30日(日)	WIND BLOW(牧之原市 相良シーサイドパーク)
8月30日(日)	静岡県・焼津市・藤枝市総合防災訓練(焼津市 大井川港、小川港)
9月5日(土)・9月6日(日)	アタミアロハフェスティバル2015(熱海市 渚親水公園)
9月5日(土)・9月6日(日)	国際OWSレース(南伊豆町 弓ヶ浜海岸)
9月5日(土)・9月6日(日)	ビッグシャワー海洋浴の祭典(下田市 吉佐美大浜海岸)
9月5日(土)・9月6日(日)	全日本ライフセービング選手権大会 中日本大会(牧之原市 静波海岸)
9月13日(日)	夕映えの響き(西伊豆町 宇久須港)
9月13日(日)	静波ガールズコンテスト(牧之原市 静波海岸)
9月19日(土)	客船「飛鳥II」入港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
9月20日(日) 予備日:27日(日)	しずなみマリンピック2015 ビーチクリーンアップ(牧之原市 静波海岸)
9月26日(土)・10月12日(月・祝)	秋季熱海海上花火大会(熱海市 熱海湾)
9月27日(日)	第15回 田子の浦漁漁協しらす祭り(富士市 田子の浦漁業協同組合)
9月27日(日)	大井川港釣り大会(焼津市 大井川港)
9月29日(火)	客船「にっぽん丸」入港(富士市 田子の浦港)
10月2日(金)	客船「サファイア・プリンセス」入港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
10月4日(日)	オータムフェスティバルinやいづ2015(焼津市 焼津港内港)
10月11日(日)	南伊豆弓ヶ浜アクアスロン大会(南伊豆町 弓ヶ浜海岸)
10月11日(日)	清水港マグロまつり2015(静岡市 JR清水駅みなと口周辺)
10月17日(土)	小川港さば祭り(焼津市 小川港)
10月17日(土)・10月18日(日)	客船「飛鳥II」入港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
10月17日(土)・10月18日(日)	ビタミンソーデーウォーク(牧之原市内)
10月18日(日)	清水港興津フェア(静岡市 興津国際流通センター)
10月22日(木)	経済と暮らしを支える港づくり全国大会(砂防会館)
10月23日(金)	客船「セレブリティ・ミレニウム」入港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
10月26日(月)	客船「セレブリティ・ミレニウム」入港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
10月30日(金)～11月3日(火・祝)	帆船「日本丸」入港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
10月31日(土)	客船「飛鳥II」入港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
11月上旬	灯台記念日(無料開放)(御前崎市 御前崎灯台)
11月14日(土)・15日(日)・12月12日(土)・13日(日)・平成28年1月9日(土)・10日(日)	網代ひもの祭り(熱海市 大縄公園)
11月15日(日)	千本浜ファミリーマラソン大会(沼津市 千本浜防潮堤)
11月17日(火)	客船「飛鳥II」入港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
11月29日(日)	第5回 御前崎マリンパークマラソン(御前崎市 マリンパーク御前崎)
12月6日(日)・13日(日)・23日(水・祝)	忘年熱海海上花火大会(熱海市 熱海湾)
12月22日(火)	とっておき冬花火大会(伊東市 伊東海岸)
12月23日(水)	客船「ばしふいっくびいなす」入港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
平成28年1月1日(金・祝)	初日なぶらイベント(御前崎市 観光物産会館)
平成28年1月1日(金・祝)	静波海岸・さがらサンビーチ初日の出(牧之原市 静波海岸・さがらサンビーチ)
平成28年1月2日(土)	漁船乗り初め(西伊豆町 仁科港)
平成28年1月2日(土)	漁船乗り初め(西伊豆町 安良里港)
平成28年1月12日(火)	客船「にっぽん丸」入港(富士市 田子の浦港)

編集後記 |

花火の音が聞こえる季節となりました。行事予定にも静岡県内各地の花火大会日程が掲載されておりますので、皆さんも足を運んでください。
 今号ニュースでも掲載しておりますが、平成27年5月27日(水)日本港湾協会定時総会が静岡市で開催されました。好天に恵まれ無事に終えることができました。開催実行委員会・関係団体の皆様、本当にお疲れ様でした。(K.H.)

当会では、会報誌面充実のため皆様からの港に関する情報やニュース・寄稿をお待ちしています。
 関係団体の活動、イベントPRなど…どんな些細な事でも構いません。詳しくは下記連絡先までご連絡ください。

静岡みなと通信

編集・発行 静岡県港湾振興会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部港湾局内
 TEL.054-221-3052 FAX.054-221-2389 E-mail:shizu.kouwan@gmail.com